



飯田市 歴研ニュース

News Letter

No. 111

The Iida City Institute
of Historical Research

2021年4月1日 発行

飯田市歴史研究所

〒395-0803

長野県飯田市鼎下山538

TEL 0265-53-4670

FAX 0265-21-1173

E-mail iih@city.iida.nagano.jp



歴史研究所第5期中期計画がスタートします

今年から始まる第5期中期計画では、2003年の創立以来の理念を堅持しつつ、地域の歴史・文化遺産の保存収集と調査研究を基礎とした、多様な地域貢献に取り組みます。詳しくはホームページをご覧ください。

I 基本方針

1. 地域史料や歴史的景観などからなる「地域遺産」の調査研究とその保存公開に取り組みます。
2. 日々の暮らしや出来事など、過去となりつつある現在を記録し歴史資料とすることをめざします。
3. 飯田市中心に、歴史的に密接・不可分な関係にある下伊那の全域を対象とし、包括的に活動を進めます。
4. 地域史研究の拠点だけでなく、地域遺産の保全や地域連携の取り組みでも拠点となることをめざします。
5. 歴史研究所の取り組みや成果を広く発信し、交流の拡大を図ります。



第17回飯田市地域史研究集会

II 重点目標

1. 地域アーカイブズ事業の拠点化
市民にとってかけがえのない共有財産である歴史資料を守り、調査・収集・整理に継続的に取り組みます。美術博物館・中央図書館とも連携し、史料の閲覧・利用環境の改善に努めます。
2. 地域遺産の再発見
現在の市内や郡部の自治区域は、近世のまちやむらにさかのぼる「単位地域」としてとらえることができます。これらの単位地域にのこる多様な地域遺産について、市民とともに学び、また未来への継承についても考えます。
3. 地域市民との連携
これまで取り組んできた市民との連携活動を重視し、各地の史料調査や地域学習の取り組みと協働します。
4. 地域史研究・地域遺産保全での交流
飯田・下伊那の博物館や資料館、研究団体と交流を積極的に進めます。
5. 恒久的施設への移転
現在の歴史研究所は2017年に仮移転したのですが、利用者の利便性や社会教育諸機関との連携をとるうえで恒久的施設への移転が不可欠です。第5期中期計画において今後の方向性を具体的に検討します。

III 基本的事業活動

1 研究・調査

[1] 史料調査

史料調査活動を多様に進めます(個人の家や区、学校など地域に残された文献史料、オーラル史料、建造物・景観、映像・音声、行政文書等)

[2] 研究活動

- ・基礎研究、基礎共同研究
- ・地域史研究集会、定例研究会、ワークショップ、史料研究ノート、年報の編集・刊行

2 教育・普及活動

[1] 飯田アカデミア

広い視野を重視し、第一線の研究者による最新の成果を提供します。

[2] 地域史講座

各地の公民館等を会場として単位地域の歴史を学ぶ講座を開催します。

[3] 出前講座

[4] ゼミナール、ワークショップ

[5] 古文書講座

[6] 公開史料調査・協働史料調査

3 研究者養成と地域連携

飯田・下伊那の地域史研究のさらなる活性化を目指し、市民研究員制度を柱とした研究者養成や、地域史研究団体との協働に取り組みます。

4 地域史編さん・出版事業

毎年の研究成果を収録する『年報』に加え、以下の出版事業に取り組みます。

- [1] 史料編さん(近世史料編/オーラル・ヒストリー等)
- [2] 調査報告書
- [3] 地域史叙述
- [4] テーマ叙述



2021年3月6日開催地域史講座

IV 体制整備

1. 組織・運営

現状の点検と評価を行いながら、研究員の任期制の再検討や研究助成の獲得に取り組みます。また、所蔵史料の目録公開など、ウェブサイトを通じた情報公開と研究交流に取り組みます。

2. 連携

飯田市の社会教育機関、特に市街地中心部に位置する美術博物館・中央図書館との連携を強化します。また地域連携の一環として各公民館との連携プログラムを模索します。

募集します!

市民研究員候補・歴史研究活動助成・飯田歴研賞2021候補作品

歴史研究所では、飯田・下伊那を対象とした地域史研究のさらなる発展を目指して、研究者の養成、研究活動への助成、優れた研究成果の表彰を行っています。2021年度も市民研究員候補、歴史研究活動助成、歴研賞候補作品を募集しますので奮ってご応募ください。

市民研究員候補募集

2年間の市民研究員養成課程の中で、飯田・下伊那の地域史にかかわるテーマの研究に取り組んでいただきます。研究員の指導のもと、各種の教育プログラムを通して、歴史研究の基礎を学びながら、修了論文の作成を目指します。これまでに、「平岡ダム建設と外国人強制労働」「飯田の街角の文字デザインと歴史」「信南自由大学運動の意義」「旧川路村に残された軍事郵便」「明治20年代の雑誌からみた伊那谷の人々の思想」に関する研究などが行われました。市民研究員に認定された後は、引き続き研究を進めていただくとともに、歴史研究所の調査研究活動にもご参加いただけます。

募集人数 若干名

応募方法 研究テーマ・研究計画・志望動機を歴史研究所へ提出してください。
(様式は飯田市ホームページ「飯田市歴史研究所 市民研究員候補の募集」よりダウンロードできます。)

募集期間 2021年5月1日(土)～7月31日(土)(必着)

審査結果 書類審査と面接を行い、8月末日までに採否をお知らせします。

2021年申請 研究助成募集

飯田・下伊那を対象とした歴史研究に取り組む団体、及び大学生・大学院生に対し、研究経費の助成を行います。近年では、「近世の借屋人の生活と移動」「消防組・軍人会史料と座光寺の近代」「幕末維新期の薪炭材生産と地域資源管理の展開」などの研究活動に助成を行いました。

応募資格 ①飯田市内又は下伊那郡内に住所を有する団体(研究団体)、②大学の卒業論文又は修士論文を作成するための研究を行う者(研究者)

研究期間 2022年2月まで(2月末までに実績報告書を提出)

助成金額 研究団体及び卒業論文作成研究者:10万円以内、修士論文作成研究者:15万円以内(2年間の場合)

応募方法 助成要項をご確認のうえ助成申請書・研究計画書を歴史研究所へ提出してください。(助成要項及び様式は飯田市ホームページ「飯田市歴史研究所 歴史研究活動助成」にあります。)

募集期間 2021年5月1日(土)～6月30日(水)(必着)

審査結果 書類審査などを行い、8月末日までに本事業に適した研究が審査します。

助成金の交付 助成金の交付は、実績報告書類や成果発表などにより、本事業の目的や助成条件に適したものが審査し、適当と認められたものについて、交付します。

飯田歴研賞2021候補作品募集

歴史研究所では、前年度に発表された飯田・下伊那の地域史研究に関する優れた作品に歴研賞(著作部門、論文部門)・奨励賞を贈っています。昨年度は、片桐秀人氏『自分史 この道を行けば』(私家版、2019年9月)ほか4作品が受賞されました。自薦・他薦を問いません。

対象作品 2020年4月～2021年3月に刊行・発表された著書・論文(自費出版を含む)

募集期間 2021年5月1日(土)～6月30日(水)(推薦作品を持参または郵送してください。)

※詳細は飯田市ホームページ「飯田市歴史研究所」をご覧ください。

市民研究員の紹介

竹村 雄次さん (市民研究員)

市民研究員になりました竹村雄次です。明治大正期を研究しています。これまでにしてきた研究は、明治30年代の雑誌『伊那青年』に見る俳句短歌革新運動。新派俳句会の松聲会と木下釣月。日露戦争時の下伊那の学校の状況。国学・不二道から大日本実行会や報徳社への流れ。大正期の旧派俳句会、などです。主に文化史・思想史が研究の中心です。

この時期の下伊那の文化思想には、様々な注目事象があり、時代のエネルギーを感じます。青年会や実行会の文化活動には、全国の先頭を走るものがありました。「下伊那人の新しい物好き」という言葉はよく聞きますが、この時期もその様です。また、個々の人物を見ると、素晴らしい個性が沢山います。その中でも、二十歳で亡くなる木下釣月は、もっと大勢の人に知ってほしい俳人です。下伊那に在りながら雑誌や郵便を駆使し、東京の正岡子規や日本中の俳人と繋がっていました。彼の作品は、今、読んで「いいな」と思います。そんな紹介もしていきたいです。

今まで、研究をしてきて依拠してしまう三冊の本があります。市村咸人『伊那尊王思想史』、小林保一(郊人)編『伊那の俳人』、村沢武夫『伊那歌道史』です。この偉大な研究に感謝しつつも、昭和初期の著作の影響下にある現状を、「どうなんだろう」と思う自分がいます。これらを少しでも超えるような研究がしたいです。その研究の柱となりそうな史料が歴史研究所にはあります。『伊那尊王思想史』に関係しては、松下千代の不二道史料。国学と不二道がどう融合していくのかなど見てみたいです。また、『伊那の俳人』『伊那歌道史』に関係しては、北原阿智之助(痴山・芋作)の史料が注目です。痴山としての文化活動と阿智之助としての政治経済活動がどう関わっていたのか見てみたいです。これらの史料の研究ができることが研究員になった楽しみです。

写真は、原九右衛門の書「^{たわ} 携みなく分け入りてこそ花も見めふみのはやしのよし深くとも」(阿智第二小学校蔵)。このような書や歌から見えてくる歴史を大事にしたいです。



お世話になりました

原 英章 (特任研究員)



十年一昔、といいますが、中学校の社会科教員を退職して、歴史研究所の市民研究員第一期生となり、歴史研究所とのお付き合いが始まったのが10年前でした。教員時代から調査していた平岡ダムの歴史を中心に、遠山川の飯島発電所の調査も歴史研究所の支援をいただきながら進めました。そして市民研究員だった私が、調査研究員となり上郷自治振興センター2階の研究所に勤め始めたのが、5年前でした。ちょうど上郷自治振興センター建て替えのため歴史研究所は移転することになっていました。移転先をめぐって紆余曲折があり、間もなく鼎東保育園跡へと決まりました。移転の準備と移転作業、それが落ち着くと間もなく新型コロナの流行とその対応といろいろなことのあった5年間でした。

研究面では、前から続けていた満蒙開拓青少年義勇軍の研究の他にも、上郷にあった陸軍対空監視哨、少年農兵隊(正式には甲種食糧増産隊)、川路の豊川海軍工廠天竜峡分工場などについて調査をしてきました。こうしてみると、アジア・太平洋戦争中に、今まであまり表

に出ていなかった地域の事柄を掘り起こすことに深く関わって来たこととなります。

平岡ダムから始まった自分の地域史との関わりが、歴史研究所での活動を通して、視野が広がり、飯田下伊那地域の動きとの関連で見ることができるようになったように思います。視野の広がりによって新たなテーマもできています。心のどこかに「日暮れて道遠し」の感も無いわけではありませんが、この道には終着点といったものはないことも自覚しています。今後も歴史研究所の諸活動に参加させていただきながら、地域史の調査研究を続けて行けたらと思っています。

力の無い私がこの5年間自分なりに力を尽くすことができたのも、お世話になった研究所内外の皆様のおかげです。心から深く感謝しお礼を申し上げます。

2003年12月に発足した歴史研究所は、間もなく20周年となります。飯田下伊那地域の歴史研究の拠点として、ますます発展されることをお祈りいたします。

新刊案内

『史料で読む飯田・下伊那の歴史2』

川路のあゆみ -近世から近代へ-

歴史研究所 編集・発行 B5判 83頁 定価 900円



歴史研究所では近年、旧川路村役場文書(川路支所文書)を中心に、川路地区に残る史料群の調査・研究に取り組んできました。この本は、その成果を紹介するものです。

川路の歴史を特徴づける12のテーマを選び、各テーマの冒頭に基本となる史料の写真を示し、その文字の解説(釈文)、音読するための読み下し、現代語訳、むずかしい言葉の意味などを順に掲載しています。そのうえで、そのテーマや基本史料を深く理解するための解説を記しています。

川路には、すでに『川路村誌』(1988年)があります。今回の本では、それをさらに発展させることも目指しています。最新の調査・研究成果をぜひお楽しみください。

【12のテーマ】

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 親田村の山と下川路村 | 7 名勝天龍峡と「日本新八景」選定 |
| 2 天竜川をめぐる村々の争い | 8 蚕糸業組合法の制定と川路 |
| 3 盗みと博奕 | 9 川路村分村移民村民大会 |
| 4 正月の門付芸「春田打ち」の再興 | 10 軍事郵便が伝えた戦争 |
| 5 明治20年代の地図調製 | 11 川路村青年団 |
| 6 「育蚕品評会」にみる村の協同と自治 | 12 豊川海軍工廠天竜峡分工場 |

※販売場所：歴史研究所・美術博物館・川路自治振興センター等

歴研ゼミ&ワークショップ4月・5月の予定

受講生募集!

会場：歴史研究所 研修室 ※満洲移民研究ゼミは鼎公民館にて開催します。

建築史ゼミ

担当：福村任生(研究員)

4月16日/5月21日

(第3金曜日) 19:00~21:00

近世史ゼミ

担当：羽田真也(研究員)

4月14日・28日/5月12日・26日

(第2・第4水曜日) 18:30~20:30

近現代史ゼミ

担当：田中雅孝(特任研究員)

4月10日・24日/5月8日・22日

(第2・第4土曜日) 10:00~11:40

思想史ワークショップ

市民の皆さんが自主的に学び合う場

4月7日・21日/5月19日

(第1・第3水曜日) 19:00~21:00

満洲移民研究ゼミ

担当：本島和人(調査研究員)

齊藤俊江(調査研究員)

第113回 4月3日/第114回 5月1日

(第1土曜日) 10:00~11:40

地域史ゼミ

担当：太田仙一(研究員)

4月9日/5月14日

(第2金曜日) 18:30~20:30

定例研究会

時間：14:00~16:00 ※聴講ご希望の方は歴史研究所までお電話ください

明治期下川路村の建物台帳を読む

開催日：4月10日(土)

会場：伊賀良公民館

報告者：福村任生(研究員)

明治30年代における王子製紙の 長野県下伊那郡遠山地域への進出 —地域社会の動向に着目して

開催日：5月1日(土)

会場：鼎公民館

報告者：太田仙一(研究員)

ゼミ・ワークショップの詳細・お申込みについては、歴史研究所までお問い合わせください。TEL：0265-53-4670

各種講座、アカデミア、ゼミについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発熱・咳などの症状のある方やマスクを着用されない方の受講はご遠慮ください。また、今後の感染状況により、延期または中止をする場合がありますのであらかじめご了承ください。

開所時間：午前9時~午後5時 休所日：日曜日・月曜日・祝日・12月29日~1月3日